

発効日／平成24年12月1日  
 発行者／江別市生涯学習推進協議会  
 編集／広報委員会  
 連絡先／江別市教育委員会生涯学習課  
 067-0074 高砂町24-6  
 電話 011-381-1062  
 FAX 011-382-3434  
 HPアドレス <http://www.e-lalala.org/>



会員活動の発表を行う生涯学習フェスティバルが、11月17日市民会館小ホールにて大盛況の内に終わりました。  
 今回は、8団体の発表と12団体の展示がありました。  
 今年の特徴は、子ども文化ネットワーク・江別の「巻物絵本作り」、MOA美術文化サークルの「ミニ切花体験」、そしてYOSAKOIソーラン祭りです。準大賞に輝いた江別まつことええ&北海道情報大学と一緒に踊るYOSAKOIなど体験型の発表が多く、会場内が小学二年生の教室と間違えそうなくらい、歓声で盛り上がっていました。  
 展示ブースでは、それぞれの団体が工夫を凝らした展示がされており、大変に見やすい活動紹介となっていました。  
 参加者は会員だけでなく一般の方々も来場いただき、当協議会の

最後に、催しを成功裡に終えたことを、参加頂いた方々、見学された方々、裏方として準備から苦勞頂いた教育委員会生涯学習課の方々に、感謝申し上げます。

目指す開かれた生涯学習活動として、リレー講座と共に「生涯学習フェスティバル」が大切な発表の場であることを感じ、更なる創意工夫を行いながら、みんなの手で育てて行きたいと感じました。



『生涯学習フェスティバル』大成功！  
 江別市生涯学習推進協議会副会長 澤口 智視

### 【生涯学習情報に登録しませんか】

当協議会では、市内で各種学習活動を行っている団体のほか、指導者として学習活動に協力いただける方々の情報をホームページに掲載しており、生涯学習活動を行う方々に広く活用いただいております。

つきましては、生涯学習活動のより一層の充実を図るため、生涯学習情報の登録をお願いします。

申請方法／本協議会ホームページで申請できるほか、事務局で申請書を配布。



【第1回】10月6日(土) 北翔大学・同短期大学部

「江別の防災のまちづくり」

短期大学部学長 齊藤 徹

☆災害に対する備えに不備が多い事を改めて感じた。壁の配置は大事だと感じるとともに、耐震診断に興味を持ちました。帰ったら改めて、災害避難について、家族会議を開こうと思います。



☆地震だけでなく、異常気候による洪水の心配が低地では起こりやすいことが分かり、土嚢の準備を覚えておく必要を感じました。昨年、排水溝から水があふれ、排水溝のふたが持ち上がったことがあります。

【第2回】10月27日(土) 酪農学園大学

「千支の動物の寄生虫シリーズ」

～魚類の寄生虫～  
獣医学群教授 福本真郎

☆ダンボールハウスもいざというときに、誰でも簡単に素早く作れるように、日々研究されているんですね。体が動く今は、考えられないことも多々ありますが、いざ、体が動かなくなってしまうと遅いと改めて考えさせられました。

☆ダンボールハウスは簡単でよいと思った。プライバシーを守ることとできる。交通事故死を超える家庭内事故死の増加に驚き、それに伴って介護が必要になることもあると考える。ユニバーサルデザインが重要であると感じた。



「ソバとそばの話Ⅳ」

「日本各地の在来種」  
農食環境学群教授 我妻 尚広

☆とても参考になりました。講師のように30年代生まれの人は、多くの人が巨大な回虫の排出に驚いた記憶があるということでした。私も、その頃の多くの人のことを思い出しました。魚から人体に感染する寄生虫については、現実的なお話で、とても参考になりました。これからは食生活に気を付けていきたいと思えます。

☆身近に多くの寄生虫がいて、日常生活の中で、衛生面に気を付けなければならぬと改めて感じました。普段は無意識に魚などを手にしていました。これからは気を付けてみるようにしたいと思えます。本日は、面白いお話を聞くことができました。ありがとうございました。



☆いつもの軽妙なご講義を拝聴できました。ソバをうれしく思います。ソバをご研究し、愛しておられることをよく感じられ、いつ聞いても奥の深いお話ばかりで大変良い時間を持てました。ありがとうございました。

☆ソバの在来種と言う定義が面白く思いました。つまりソバは10年連続してその地域で育成されると、その土地の特性によって質が変わるとのことでした。



●江別市スポーツ少年団

◎第24回サッカー大会

日時：12月8日(土)～9日(日)

場所：市民体育館

対雁小学校

◎第32回柔道大会

日時：12月9日(日)

場所：青年センター

◎冬季交流会(スノーフェスティバル)

日時：2月10日(日)

場所：向ヶ丘特設会場

◎第32回空手大会

日時：3月24日(日)

場所：市民体育館

●おはなしなかに

◎X'masおたのしみ会

サンタクロースがプレゼントを配ります。

日時：12月21日(金)

10：30～11：30

場所：大麻公民館2階研修室

2号

◎お正月のあそび

十二支の絵合わせ、はごいた作りなど

日時：1月11日(金)

10：30～11：30

場所：大麻公民館2階研修室

2号

◎まめまき

赤おに青おににまめをぶつけて「泣き虫おに」「甘えんぼおに」をやっつけます。

日時：2月1日(金)

10：30～11：30

0：30

【第3回】11月10日(土) 北海道情報大学

「シニア世代の

生きがいについての「考察」  
情報メディア学部教授  
山本哲二

☆健康であれば生きがいも見つけやすい……ということをご参考になりました。言葉より映像を見ながらの学習で、実感として分かり易かった。生きがいとは、健全な体を維持することだと再認識でき良かったと思います。



「メディアの始まり

―出版・映画・ラジオ―  
情報メディア学部教授  
高野俊夫

☆ヨーロッパで発明されたものが世界に広まり、ヨーロッパの歴史を感じます。その当時の生活ぶりに思いを巡らせます。昔の映像がとても良く、当時の服装が素敵でした。



☆パピルス紙を触らせてもらい感激し、エジソン、リュシエールの映像を観て感激し、それが今でも残っていることに驚き、文化の変化に驚き、長生きはするものだとつくづく感じました。アメリカ大統領選においても異常な報道がなされ、国民が惑わされたりとメディアの役割は何かを問われたと思っています。

【第4回】11月17日(土) 札幌学院大学

「2012アメリカ合衆国

大統領選挙と大統領の役割」  
人文学部教授 平体由美

☆分かりやすい講義で、最後まで興味深く聴きました。選挙制度に完全なものがないというのは、日本でも同じだと改めて感じました。



☆米大統領に関する報道について、漠然として見聞きしていたが、今後は報じられる事象について興味が増した。大統領選直後であり、説明を聞いて疑問点が理解できました。



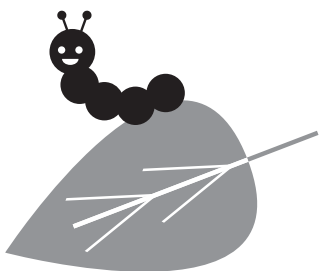
「人口減少社会と地域」

経済学部教授 平澤亨輔

☆人口減少問題、高齢化社会問題も考え方やアイデア次第では活路も開けると感じました。



☆人口問題は、今後の日本像が大きく変化する大問題になりそう。特に地方(北海道)への影響は大きいですね。想像が出来ないほど大きな問題です。



◎ひなまつり

「春が近い」ことを喜び、たのしい工作にとりくみます。

日時：3月1日(金)  
10:30~11:30

場所：大麻公民館2階研修室  
2号

●江別生涯学習インストラクターの会

◎子育て支援事業「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」

他団体との連携をとりながら遊ぶ・つくる・の時間に  
日時：1月26日(土)  
13:00~

場所：野幌公民館1階ホール

●江別市子ども会育成連絡協議会

◎2013スノーフェスティバル  
日時：2月9日(土)~10日(日)

場所：向ヶ丘特設会場

●江別演劇鑑賞会

◎テアトル・エコー「フレディ」  
天才フレディ率いる サークラス一座。かつての人も今は昔。客は減る一方。金策に走るフレディだが、訪ねたパトロンが殺され、疑いは彼に……。

このピンチに起死回生の大バクチに出るフレディ座。彼らの行く先は？  
日時：2月23日(土)  
開演18:30

場所：市民会館大ホール

## 赤十字キャンペーンを開催しました

江別市赤十字奉仕団  
堀田 佐智子

11月6日、野幌公民館ギャラリーに於いて「江別市赤十字奉仕団・日赤キャンペーン」を開催いたしました。

内容は次のとおりです。

- \*写真パネル展(東日本大震災救護活動等)
- \*防災グッズ展示
- \*非常食(アルファ米)試食
- \*非常時の「結ぶだけの風呂敷リュック」の作り方
- \*日赤ちらし・ティッシュ配布

炊き出しのアルファ米のお赤飯はとても美味しい出来上がりになり、風呂敷を使った簡単なリュックの作り方は大好評でした。

又、炊き出し用の大鍋展示のほか、災害時の避難所に日赤より支給されます救急セット、安眠セット、非常用品セットも展示いたしました。



毎年、日赤では皆様から社費をいただきまして、災害救援や献血事業などの幅広い人道活動を行っております。

私達赤十字奉仕団員もささやかですが平和を願って活動を続けております。

今後とも日赤へのご理解、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 創立60周年記念 女性大会を終えて

江別市女性団体協議会 研修部

伊藤 祐子

「感謝〜深めようきずな つなげよう明日へ〜」を大会テーマとし、長年にわたりご協力ご支援ご指導をいただいた、すべてのみなさんに感謝する大会でした。

来賓として江別市長 三好昇様、江別市自治会連絡協議会会長 阿部実様に祝辞をいただき、徳島県出身の落語家、桂七福氏に「あなたの笑顔が心をつなぐ〜言葉で笑顔のプラスパワー〜」と題した講演をしていただきました。

七福氏は人権をテーマにした講演活動を全国各地でおこない注目を浴びている落語家で、こぼなしを前後に入れテンポよく、間よく、あきさせずに、笑い笑いの中に言葉の重要性や向い合って伝える大事さなどを話していただき、とても良い講演で女性大会を盛りあげて下さいました。

午後のコンサートは、札幌交響楽団の元首席チェロ奏者の土田



英順氏がカタロニア民謡鳥の歌やシューベルトのアベマリアなどを東日本大震災の被災者に向けて演奏され、被災チェロの話や、復興支援コンサートで小学校にクローラーを送る活動の話などを織り混ぜながら、やわらかな、いやしのチェロの音色を10曲以上演奏され、会場内を魅了しました。すべてのみなさんに感謝し、明日へとつながる心あたたまる女性大会でした。

## 視察調査に参加して

総務委員 高木 玲子

今年度の推進協議会の視察調査は、岩見沢市の教育委員会を尋ね、組織や事業、教育への取組みをお聞きし、その後意見交換、施設見学などにより知識を深めてきました。

生涯学習事業の内容は江別市のものでそれほど違いはありませんが、教育委員会の中に子ども課があり、大型商業施設内に教育委員会の一部が入り、子育て支援施設

設「ひなたつ子」を運営されているとのことでした。市民が身近に感じられる子育て施設として街の中にオープンされていたことは画期的なことと感じました。

又、子どもから高齢者までみんなが集い利用できる生涯学習センターを建設中で、生涯学習の活動拠点として位置づけられ、地域とのパイプ役として期待されそうです。市民と行政が一体となって町づくりに取り組む姿は大変参考になりました。

改めて生涯学習とは、を考える良い機会になりました。



## ★ミニ手話★



《あしがき》  
辰年も後1ヶ月で終わろうとしています。

今年をふりかえってみましょう。ロンドンオリンピックでの日本の活躍…感動をあたえてくれました。南部地方の豪雨の被害…被災者の皆さんへお見舞い申し上げます。そして16日の衆議院の選挙…政局はどうなるのでしょうか？

どれひとつとっても忘れられない出来事ですね。そして、例年はないほど暑い夏でした。ね。

さて、参加68団体で構成する当市の生涯学習推進協議会も地味ではありますが、皆さんの豊富な知識で、地域に根ざした生涯学習の充実を目指し活動しています。皆さんの団体に加盟していただければなーと思っています。来年の巳年はどんな年になるでしょうか？

野地 紀代